

矢祭山公園の桜

見ごろ  4月中旬



奥久慈県立自然公園矢祭山には、三勝八景があり、山は奇岩怪石に富み、久慈川の清流とともに雄大な景勝地で、四季折々の景観は素晴らしく、「東北の耶馬溪」と称されています。

公園内には、西行法師・水戸光圀・阪正臣・本居豊穎の歌碑があり、百数十年を経た数多いツツジが松・桜とともに生育しています。

公園内には 100 本の桜が咲き誇る。乙女ヶ越対岸の桜が矢祭山の春を告げます。



「矢祭山」の由来とは？

この矢祭山の地名は、平安中期の永承6年（1051）、源義家が奥州12年戦争の凱旋の途中、この地の美景を賞賛し、背負っていた弓矢を岩窟に納めて戦勝報告の祭りを開き、武運の長久を祈ったことからこの名が起こったとされています。